



# アップルワールド・ホールディングス株式会社(APWHD)の 株式取得に係るご説明資料

2018年1月16日



〒105-0001  
東京都港区虎ノ門3-4-8  
TEL:03-6432-0352  
FAX:03-6432-0351





## ハイライト

- ✓ アップルワールド・ホールディングス株式会社(APWHD)の100%株式取得を決議し、旅行領域への本格参入を決定
- ✓ APWHDの持つ国内旅行代理店や海外ホテルネットワークとじげんグループの持つマッチングテクノロジーを活用し、メディアプラットフォームとしての収益最大化を企図、短期的にEBITDA200百万円以上を目指す
- ✓ 株式取得額には新株予約権によって調達した手元資金を充当、株式取得後の財務状態も健全水準を堅持し、追加調達は不要
- ✓ 今期計画及び修正中期経営計画にはM&Aによる影響を織り込んでおらず、業績、東証1部指定替えスケジュールに与える影響は現在精査中

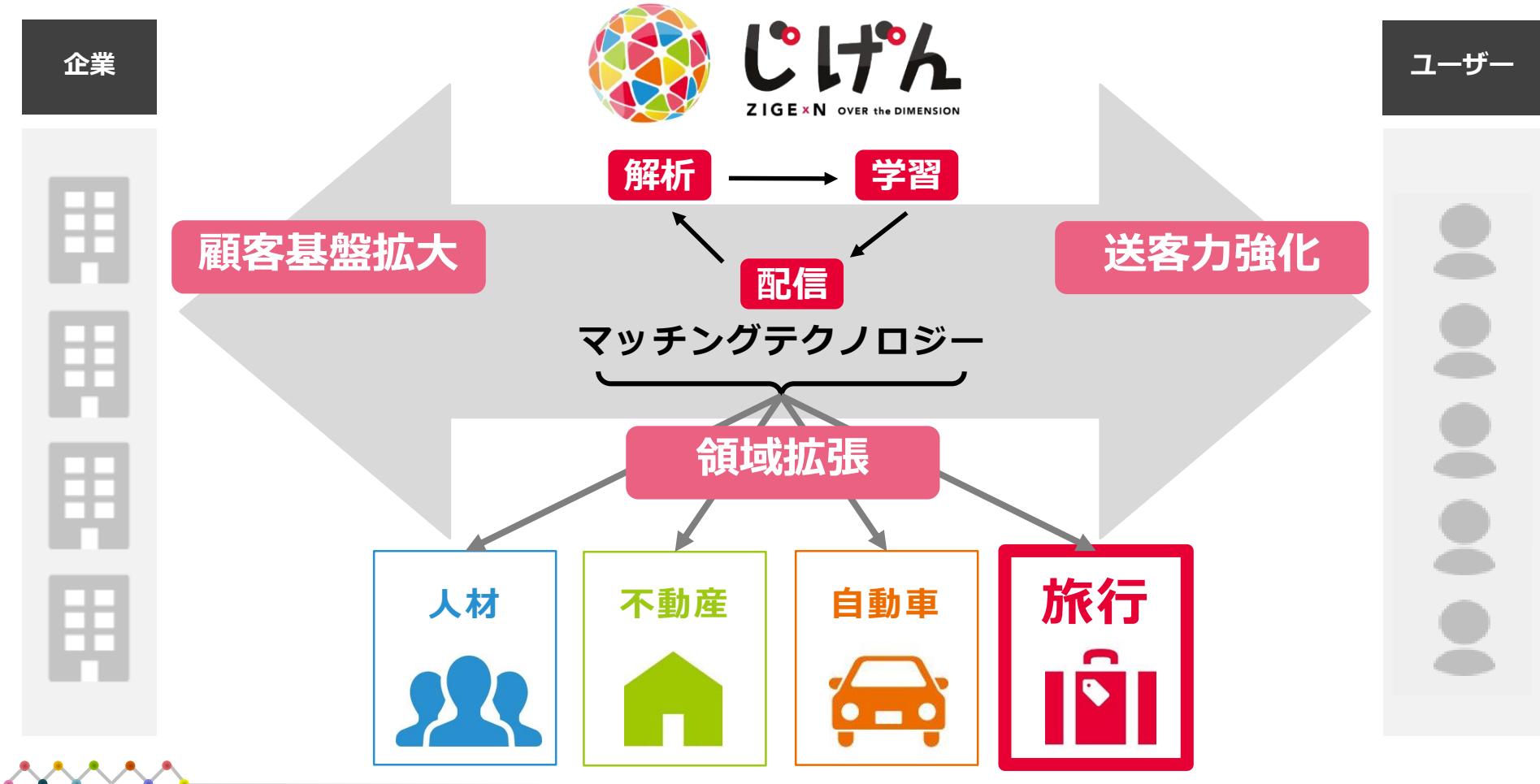




# じげんのメディアプラットフォームとしての成長施策



- 既存領域における送客力強化、顧客基盤拡大に加え、広く深くデータベースを集積して培ったマッチングテクノロジーを活用した新規領域への拡張により、プラットフォームの価値を拡大。
- 人材、不動産、自動車に次ぐ第4の柱として旅行領域への本格参入を決定。

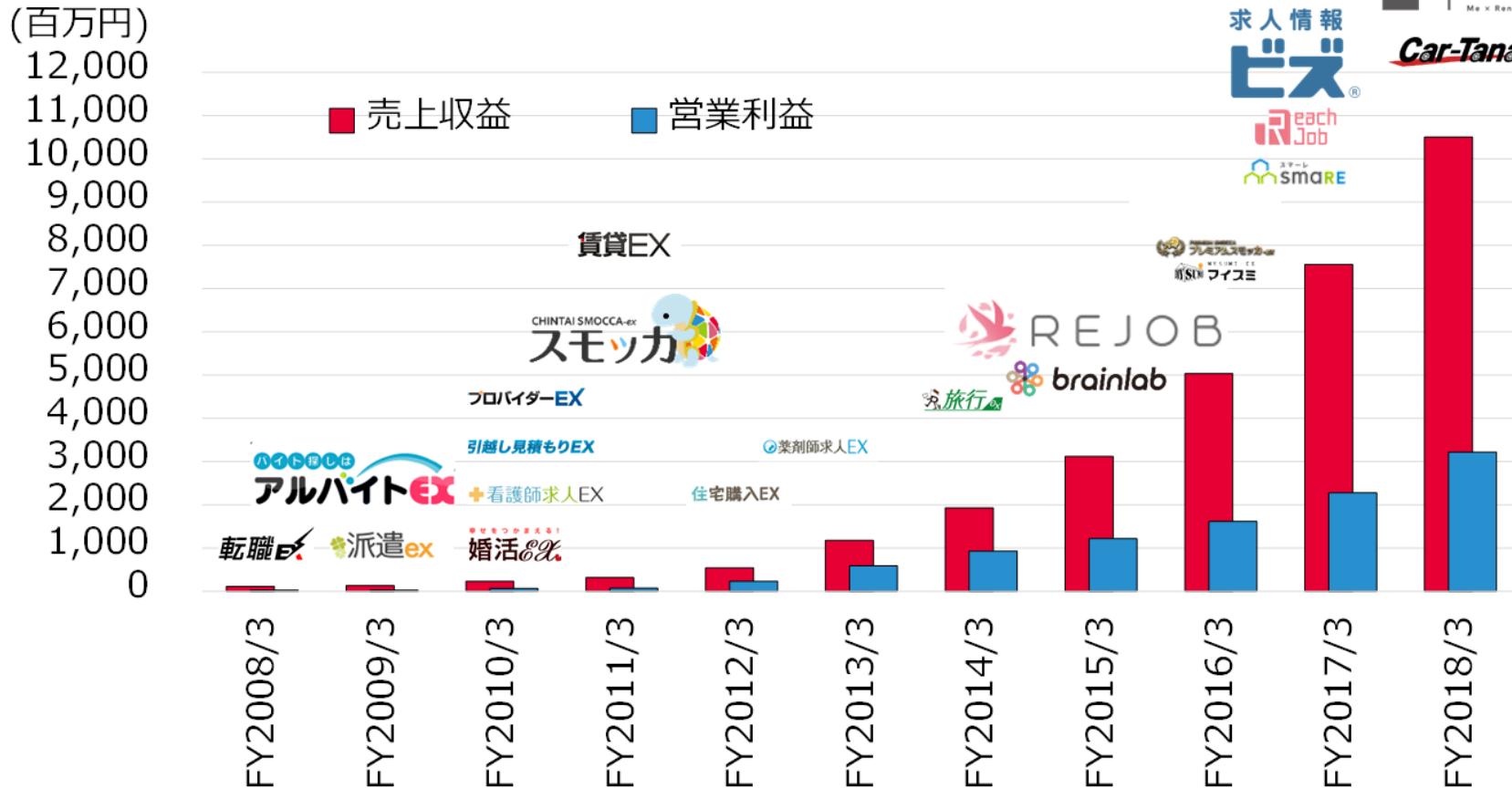




# じげんの展開領域拡張・M&Aの実績(1)



- マッチングテクノロジーやプラットフォーム構築力といった強みを活かし、創業以来毎年度、新規事業、新規サービスを立ち上げ、**業績拡大を伴う展開領域の拡張を実現。**



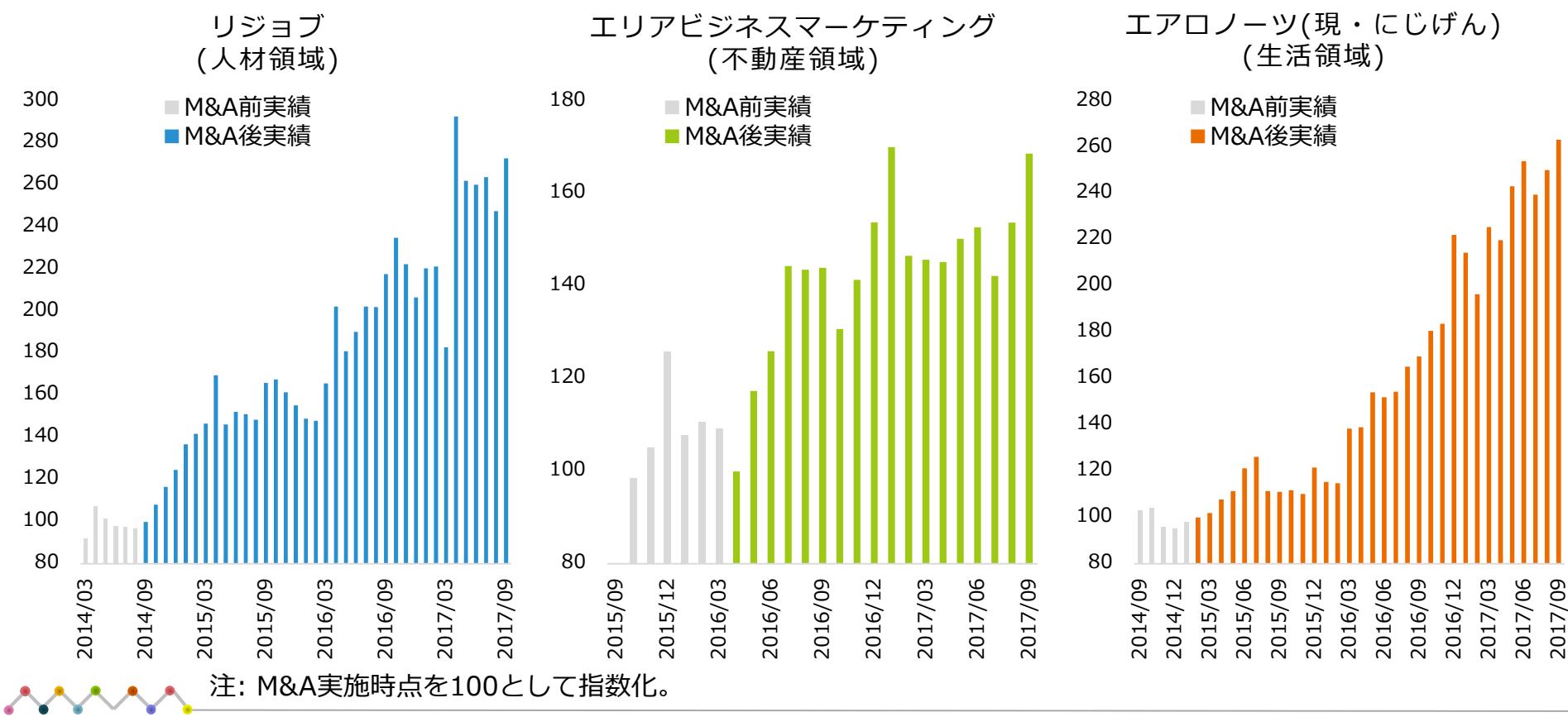


## じげんの展開領域拡張・M&Aの実績(2)



- これまでM&Aによってグループ入りした企業、事業においては、人材、不動産、生活といった事業領域に関わらず、ハンズオンのPMI(経営統合)により業績が大幅に伸長。

M&A対象企業の月次売上収益推移





## じげんの展開領域拡張・M&Aの実績(3)

- APWHDの株式取得により、上場以来のM&A実施件数は10件に到達する見込み。
- 累計ソーシング総数は約540件。厳格な投資基準と投資プロセスを運用し、慎重に対象を選定。





# APWHDについて

- 世界約150カ国約11万件のホテル情報を、日本国内を主とする旅行代理店約3,000社や提携企業、個人ユーザーに提供するランドオペレーションアグリゲーター。
- 成長戦略の見直しと経営資源の再配分により、2018年3月期のEBITDAは改善傾向。

## APWHD: 会社概要

会社名	アップルワールド・ホールディングス株式会社
関連会社	株式会社アップルワールド(100%子会社)
事業内容	旅行業(主に海外ホテル予約サイトを運営)
設立	2014年6月 (株式会社アップルワールドは1991年12月)
本店	東京都豊島区
代表者	代表取締役 小木尊人
主要サービス	アップルワールド(旅行会社向けメディア) ホテリスト(個人ユーザー向けメディア)
主要販売先	JTBグループ、株式会社エイチ・アイ・エス、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社日本旅行、株式会社阪急交通社、他約3,000社
従業員数	38名(2017年12月時点)

## APWHD: 簡易連結財務諸表

(百万円)	FY2015/3 実績	FY2016/3 実績	FY2017/3 実績	FY2018/3 計画
純資産	791	682	558	--
総資産	2,493	2,440	2,245	--
取扱高	5,265	5,542	5,597	5,200
営業収益	768	785	719	730
営業損益	114	△53	△101	△8
経常損益	36	△74	△107	△14
当期純損益	△223	△109	△122	△20
EBITDA	229	138	94	180

注1: 日本の会計基準に基づく。当社連結後はIFRS適用下でのれん償却費が非計上となり、APWHDの営業損益は黒字となる見込み。

注2: 2015年3月期は株式会社アップルワールドの約9ヶ月分と株式会社アップルワールドの12ヶ月分とを合算して調整した簡易連結数値。

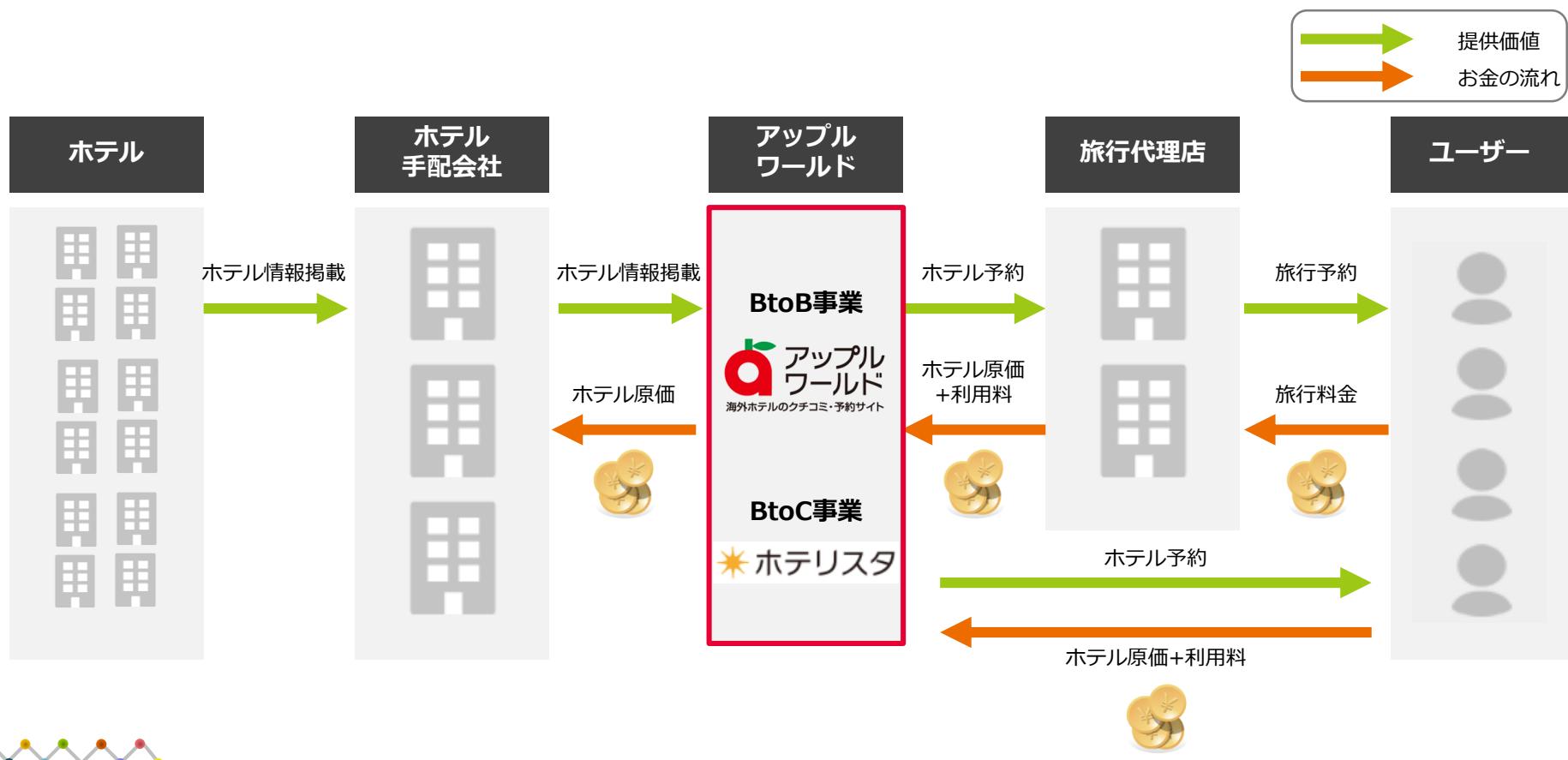
注3: EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費





# APWHDのビジネスモデル

- 日本国内を中心とする旅行代理店、個人ユーザーがホテル在庫を閲覧、検索、予約できるウェブサービスを運営。予約成立時に旅行代理店または個人ユーザーから手数料を受領。
- アグリゲーターとして複数のランドオペレーター(ホテル手配会社)と業務契約を締結しており、利用者は広範なホテルネットワークへのアクセスが可能。



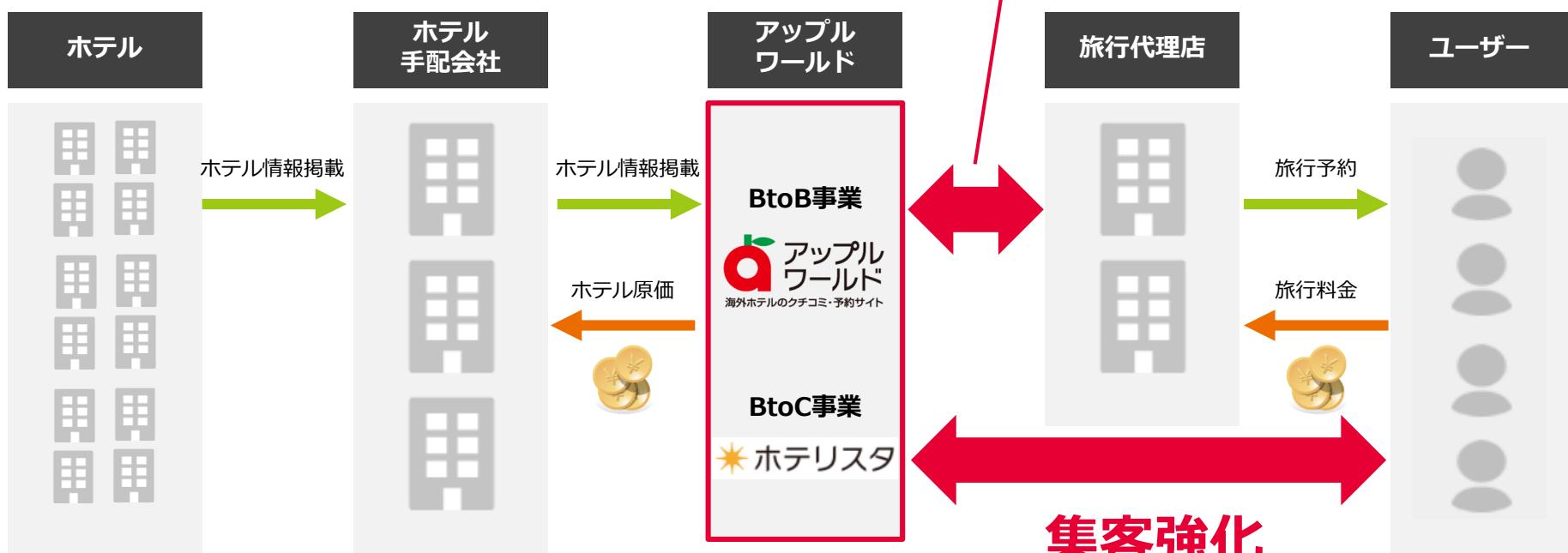
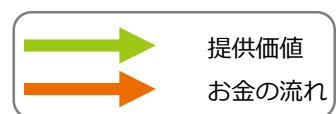


# 旅行領域の成長戦略



- じげんグループの強みである大量のデータベース解析やそれによる最適なマッチングノウハウを活用し、旅行代理店向けのソリューション強化や個人ユーザーの集客強化を企図。
- 取扱高の増加と販売チャネル及び費用適正化によるマージンコントロール等により、**短期的にEBITDA200百万円以上を目指す。**

## ソリューション強化





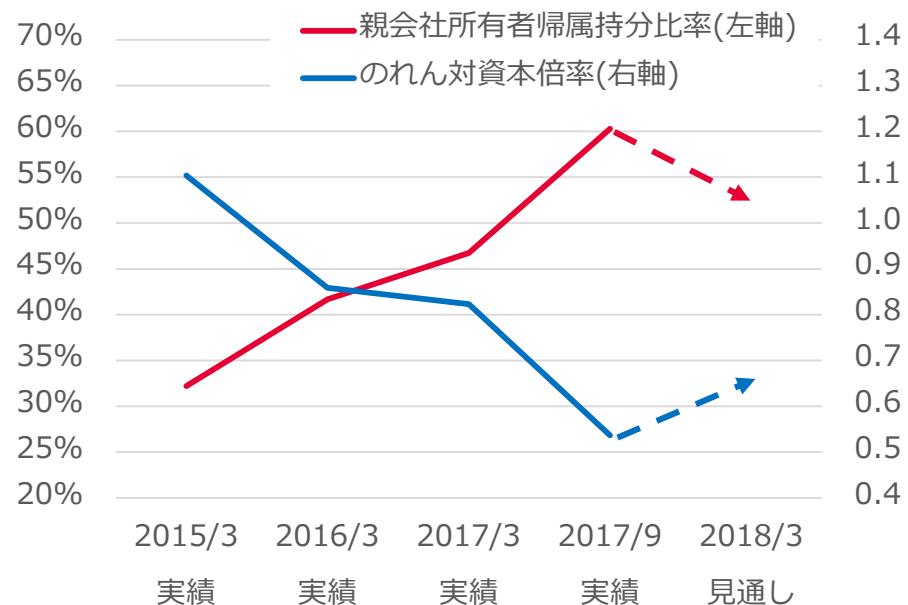
# 株式取得契約と財務影響

- APWHDの2018年3月期計画EBITDA約180百万円に対して株式取得額は1,434百万円。
- 株式取得金額の全額を、現預金として有している第5回新株予約権の行使による調達額で充当。
- じげん連結の2018年3月期末親会社所有者帰属持分比率は約50%、のれん対資本倍率は約0.7倍と、それぞれ40%以上、1.0倍程度の**財務目標の範囲内**となる見通し。

## APWHD: 株式取得概要

株式取得額	1,434百万円
異動株式割合	100%
主要株式取得先	アント・カタライザー4号投資事業 有限責任組合等 (アント・キャピタル・パートナーズ株式会社が運営)
資金調達	第5回新株予約権調達額を充当
取締役会決議日	2018年1月15日
契約締結予定日	2018年1月16日
株式譲渡実行予定日	2018年2月9日

## じげん: 連結財務見通し





# 「株価・トリプル25」達成条件型新株予約権の状況

- 2016年7月に発行した新株予約権は第4回、第5回の行使が完了しており、**調達資金の使途は全額M&A・資本提携との当初想定に変更なし。**
- 調達済み未使用分は専用の信託銀行にて管理。引き続きM&A・資本提携の待機資金とする。

## じげん：「株価・トリプル25」達成条件型新株予約権の状況

全額を三光アドの  
株式取得資金へ充当

**一部をAPWHDの  
株式取得資金へ充当**

	第4回	第5回	第6回	合計
調達済金額	1,322百万円	2,594百万円	0百万円	3,915百万円
新株予約権による発行株数(株)	1,200,000	1,850,000	1,850,000	4,900,000
交付株数(株)	1,200,000	1,850,000	0	3,050,000
未交付株数(株)	0	0	1,850,000	1,850,000
交付株数÷発行株数	100.0%	100.0%	0.0%	62.2%
当初行使価額	1,215円	1,400円	3,420円	--
下限行使価額	1,093円	1,398.5円	3,416.4円	--
平均行使価額	1,101円	1,402円	--	--

注：行使価額は株式分割の影響考慮前。





# 業績見通し

- 当社が公表済みの2018年3月期計画及び修正中期経営計画には、APWHDを含む、発表時点で未確定だったM&Aの影響は考慮されておりません。APWHDの株式取得に伴う新規連結効果や既存事業への業績影響、及び東証1部指定替えスケジュールへの影響は**現在精査中**であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

## 修正中期経営計画(2017年5月発表)

(百万円)	FY2017/3 実績	FY2018/3 計画	FY2019/3 計画	FY2020/3 計画	FY2017/3 対FY2020/3
売上収益	7,557	10,500	13,200以上	16,600以上	9,043
前年比	50.2%	39.0%	25%以上	25%以上	--
EBITDA	2,710	3,460	4,290以上	5,340以上	2,630
営業利益	2,276	3,220	4,050以上	5,100以上	2,824
前年比	41.4%	41.5%	25%以上	25%以上	--
当期利益	1,284	1,930	2,430以上	3,060以上	1,776
ROE	25.9%	25%以上を目指す			--

注1: 2017年3月期実績は日本基準、2018年3月期以降はIFRSのため、2018年3月期の前年比は参考値。

注2: EBITDA = 営業利益+のれん償却費+減価償却費





## お問い合わせ先

### ■ 株式会社じげん

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-4-8

電話：03-6432-0352

FAX：03-6432-0351

担当部署：経営戦略部

